

『地域材利用の促進』の取り組みの検討

■ これまでの取り組み

(1) 『帯広市地域材利用推進方針』を平成 25 年 3 月に策定。 < 資料 ⑥ >

(2) 公共建築物に関する工事の場合、仕様書において、道産材を優先的に使用するよう指示。

■ 帯広市の公共建築工事等における木材・内装材（木系）使用実績 < 資料 ⑦ >

※ 地域材を使用できない主な要因（住宅営繕課より聞き取り）

- ・ 価格が高く、工事予算で賄えないことが多い。
- ・ そもそも必要な規格のものが入手困難（在庫が無い）。
- ・ 当面、大規模な新築工事計画無し。設備交換などの修繕が多くなる見通し。

■ 地域材の利用を「見える化」するために森林環境譲与税で何ができるか？

現状の把握

- ・ 地域材と外国産材の価格差は？
- ・ 地域材は何処から購入できるのか？（工事設計・発注の手順の見直しが必要？）
- ・ 市内および近隣町村の製材工場は何処の材で何を作っているのか？
- ・ 公共施設以外での地域材の利用の実態はどのようなものか？ 等々

先進事例の調査

地域材の利用方法を検討

例 1：市役所など誰もが利用する公共施設の木質化

例 2：木製エクステリア（ウッドデッキ／カーポート／物置／等）への助成

例 3：市有林の材を活用してベンチなど公園施設を整備

例 4：

例 5：